【記載例】

分野	被害率	総施設数	被害箇所数	小区分	被害の概要等
	含まれる施設				摘要
道の駅よつくら港（情報館）	100%	1	1		【被害の概要等】 ○津波による施設の損壊 ・内部壁全損 ・トイレ全損
					【摘要】 （道の駅よつくら港の他の施設の状況） ○交流館 　施設を運営するNPO法人において、復旧工事等実施予定。施設については、4/16から施設の一部を利用し、営業を一部再開している。 ○漁港施設（屋外トイレ、広場等） 　施設を所管する県において改修工事を実施し、年度内には完了する見込みである。

施設等の被害の状況を記載しています。

対象となる施設等の区分ごとに整理しています。

復旧に際し特記事項等がある場合に記載しています。

今後の復旧予定（H23：3〜3、H24、H25、H26〜）

区分	今後の復旧予定
稼動状況	●4月から一部利用再開（本復旧は今年度末）
復旧状況	●災害査定 ●改修工事 ●備品購入
財政措置	●7月補正（復旧工事） ●既定予算（備品購入）
総事業費	57 百万円

総事業費	総事業費	総事業費	総事業費
	－	0	0

対象となる施設等の稼働状況等について記載しています。

工事等に要する期間を線で明示しています。

対象となる施設等の復旧状況等について記載しています。

復旧に係る予算措置の状況等について記載しています。

事業費が未定のものについては「－」で表記しています。

復旧に係る年度ごとの事業費を百万円単位で記載しています。なお、百万円に満たない場合は、「百万円未満」と表記しています。

【注意点】
○　工事等に要する期間については、今後の進捗状況等により変更となる可能性があります。
○　事業費については、見込み分を含むなど、あくまで概算費用であり、今後、国・県の制度の動向や事業内容の変更等により、大幅に変動する可能性があります。

【用語解説】
○　公共災：被害が大きく、復旧にあたり、国からの財政支援を受けられるもの
○　単独災：被害が小さく、市単独の予算で復旧を行うもの
○　災害査定：公共災の適用にあたり、事業内容について国の検査を受けること